



## 恒例行事と最強寒波

新年を迎え1月5日、雪室倉庫では毎年の恒例行事「蔵開き」が行われました。新年に今年の豊作や商売繁盛を祈願するために行うお祝いの行事ですが、真冬の倉庫の冷たい空気の中で行う蔵開きは、厳粛なムードが漂います。



また、この時期恒例と言えればもう一つ、「歳の神（才の神、賽の神）」です。近年では祝日の移動とともに行われる日も変わってきていますが、今年はもともと行われていた1月15日が日曜日だったため、この日に歳の神を行った地区が多かったようです。



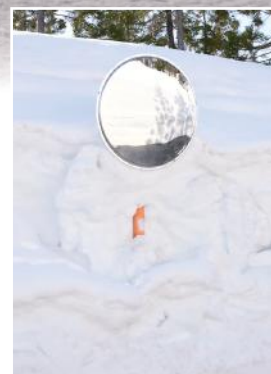
正月飾りや書初め、前年のお守りなどをお焚き上げて五穀豊穡を祈願します。また、お焚き上げの火でお餅やスルメを焼いて家に持ち帰り、家族で分け合って食べるとその年は無病息災、家内安全で過ごすことが出来ると言われています。

昨年末、新潟県内で立ち往生が発生したニュースをご覧になった方は意外に思われるかもしれませんが、歳の神が行われた1月の中頃まで、魚沼エリアは小雪しょうせつと言って良い程の積雪しかありませんでした。精米センターのある小出地区では1m程度といった感じでしたが、1月24日からの今冬最強と言われる寒波であつという間に平年並みかそれ以上の雪景色に様変わりしました。



1月29日朝には守門地区で3mを超え、小出地区でも2mに迫るところまで積もり、雪室に詰めるのに十分な量になりました。美味しい米作りにおいても雪解け水として重要な役割を果たしますが、山にも充分積もったように見えます。

我が家の作業所も4回雪下ろしをしましたので、今シーズンはもうそろそろ終わりにしていただけないか。と冬將軍をお願いしています。



### ●精米センター受付時間のご案内

「平日」は8時30分から17時30分まで。「土・日・祝日」の発送及び電話受付はお休みとさせていただきます。ご迷惑をお掛けしますがご理解をお願い致します。

